

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.28

日時	2013年7月29日
行脚先	由良古城
住所	兵庫県洲本市由良町（淡路国）
行事名	

特徴

由良城は、中世城館としての「由良古城」と、江戸時代初頭に建造された近世城館としての「由良城(成山城)」と二つのお城があります。
由良古城の築城年代は定かではありませんが、安宅河内守清康が水軍の本拠を洲本城からここに移したのがはじまりとされています。
永禄年間(1558年～1570年)には三好長慶の弟安宅冬康が居城しますが、永禄7年(1564年)に兄長慶によって自害に追い込まれました。
その後、安宅信康、安宅清康と続きましたが、織田氏を離反して毛利氏に付いたため、天正9年(1581年)織田信長の命により、羽柴秀吉・黒田官兵衛らの軍勢に攻められ開城・降伏しました。その後、慶長18年に改築されました。
現在では城跡はほとんど残っていませんが、主郭には成山神社が鎮座しています。

黒田官兵衛との関わり

官兵衛は四国征伐の前準備として、わずか3日で淡路島を制覇したと言われています。
岡山県瀬戸内市様より応援品として頂戴した【「名刀 安宅切(あたきぎり)」】は、天正9年(1581年)に黒田官兵衛が、淡路国の剛強で由良古城を居城としていた「安宅河内守」を討ち取った際に使用された名刀と言われています。
安宅切の刀身は「備前長船祐定」により制作されていたそうです。

記録

